

授業概要

心理療法および心理援助のさまざまな理論やアプローチについて講義する。

心理療法とは、臨床心理学の知見をもとに、こころの問題に関連する心身の問題や症状を改善しようとする方法の総称である。心理療法にはさまざまな学派、方法論があるが、本講義では、精神分析理論や行動主義、人間性心理学など、代表的な方法に関する基本的な知識を講義する。さらに、心理教育的援助や子どもの心理療法のほか、心理援助の応用的展開まで発展的に講義する。

授業計画

第1回	心理療法とは：概論、インテーク、アセスメント、治療契約、中断、終結
第2回	心理療法の理論と方法論1：来談者中心アプローチ
第3回	心理療法の理論と方法論2：論理療法・認知行動療法
第4回	心理療法の理論と方法論3：応用行動分析
第5回	心理療法の理論と方法論4：ゲシュタルト療法
第6回	心理療法の理論と方法論5：内観療法
第7回	心理療法の理論と方法論6：ブリーフセラピー
第8回	心理療法の理論と方法論7：森田療法
第9回	心理療法の理論と方法論8：サイコドラマ
第10回	心理療法の理論と方法論9：動作療法
第11回	心理教育的援助：アサーション・トレーニング
第12回	心理教育的援助：自律訓練法
第13回	心理援助の応用的展開1：サイコロジカル・ファーストエイド
第14回	心理援助の応用的展開2：心的外傷と心理的援助
第15回	心理援助の応用的展開3：親と乳幼児の心理臨床
第16回	試験（筆記）

到達目標

- 心理療法の基本的枠組みを説明することができる。
- 各種心理療法および心理援助の考え方、方法論の差異を明確に説明することができる。
- 心理療法をする者の基本的な心構えについて、自らの考えを整理して述べるすることができる。

履修上の注意

授業内では体験などの演習的内容を含むため、他の履修生との協力的なかわりや積極的な取り組みを期待する。

予習・復習

予習) 次回授業に関連した文献に目を通す。

復習) 授業内容の振り返りとともに関連文献を参照することによって知識の定着を図る。

評価方法

授業参加態度（積極性、主体性、意欲）50%、試験 50%

テキスト

使用しない。適宜資料を配布する。